

人生の相棒

第二百七回

佐々木家を支える
人懐っこい相棒

4年前、佐々木氏の著書『働く君に贈る25の言葉』がベストセラーになった。

社会人になった期の道井に、人ごみや仕事にどう向き合うべきかを綴った名著だ。

『道井は架空の人物で、じつは愛人のリョウから思いついた名刺なんです。木がまく光れ最大のお仕事者』は、リョウかもしれませんか？

夫人がかつて借金に苦しんでいたときも、リョウは犬が嫌いな間に家族が山分け、一人ぼっちになってしまった夫人と遠くまで散歩に出かけ、気晴らしに付き合っていたという。

「インターホンが鳴れば、玄関に飛んで行ってお客様を迎えるベルボーン係も果たしてくれています。愛想がよすぎて、泥棒が入っても、泥棒を扱ってしまいたいぞうです」

佐々木常夫

東洋経済研究所
常務顧問

1944年10月22日生まれ。69歳。69年、東京大学経済学部卒業後、東洋に入社。入社8年後、夫人の肝臓病と闘病を思う。看病や家事に釣られる中、見つめた時間で効率劣に成長を助けて仕事を豊く。10月には飯塚君に就任。10年からは東洋経済研究所社長を務めた。著書に『そうか、僕は社長になったのか』など

リョウ

シーズー犬(オス)

2002年10月22日生まれ。11歳。67cm。以前に飼っていた犬のリョウと似たネーミングが気に入った。この名前にはオスらしく、女性には愛用を返り多く、最少費は女性に抱かれると、興奮してオシッコを引っかけたこともしばしば。甘いもの大好きなので、コーヒーマスターが大好きと、お茶うけの言葉はほしさに飛んでくる

